



特別の教科 道徳



特別の教科 道徳実践事例集

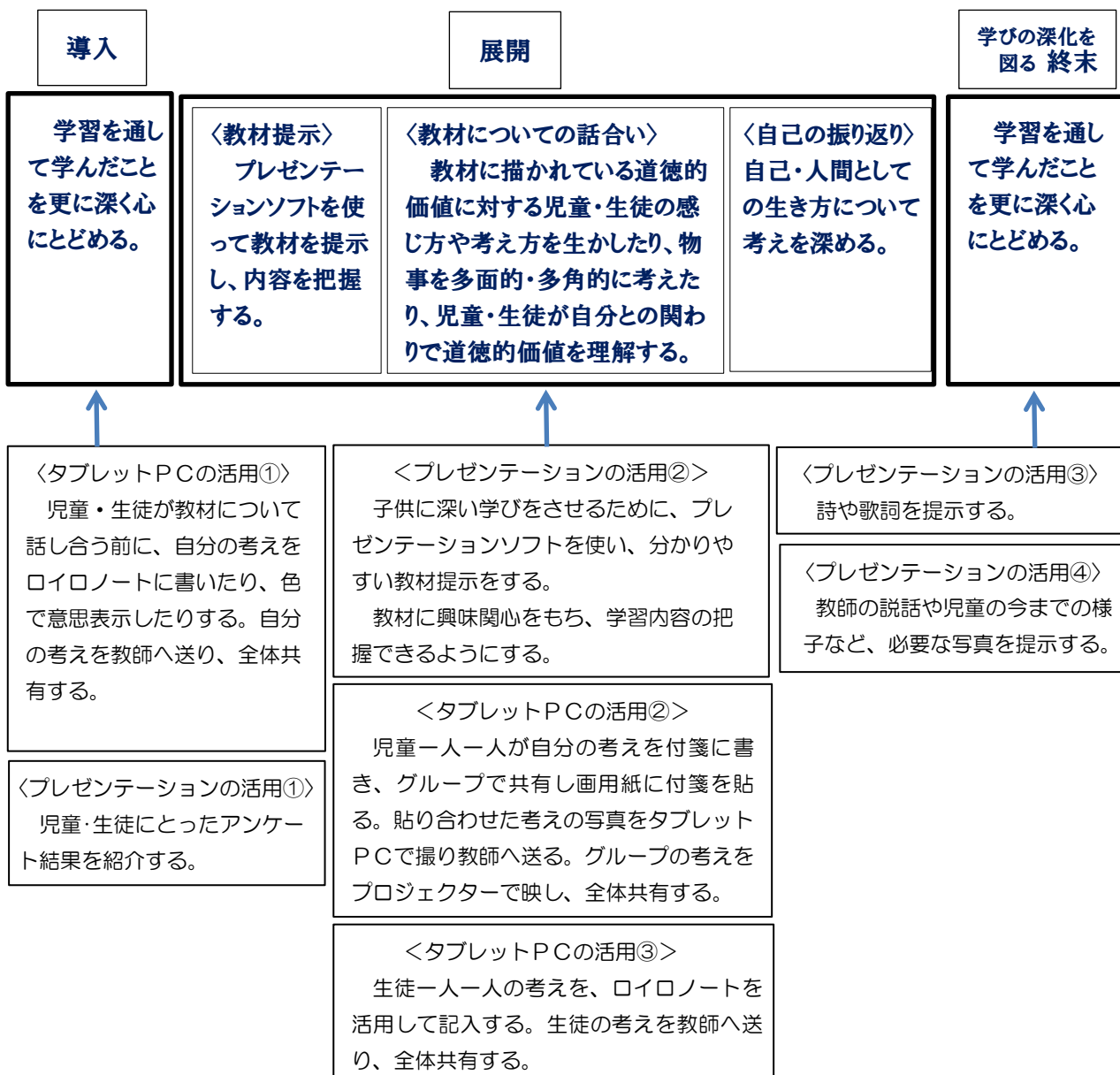
1 道徳科における深い学び

自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人としての生き方についての考えを深める学び

2 「深い学び」を目指すためのポイント

- (1) 主体的な取り組み・・・問題意識（教師の方向づけに留まらず、児童・生徒自身が自ら問いをもって臨む。）
 (方法例) ①生活や体験の中から生み出す。②共通の題材を生かして生み出す。③中心的な教材で話し合う問題を浮き彫りにする。 など
- (2) 協働的・対話的な追及・・・問題の追及（人物の共感に留まらず、価値や生き方を話し合う。）
 (方法例) ①想像や共感を踏まえ、葛藤、感動、気付きを浮き彫りにする。
 ②想像や共感から立ち位置を変えて、教材や人物への考えを問う。 など
- (3) 能動的な学び・・・磨き合い（多様な感じ方・考え方を並べて終わらず、自己の納得を求める。）
 (方法例) ①多様な考えをもとに比べ合い、違いの意味を認め合う。(多面的思考)
 ②多様な考えをもとに対立、議論、討論し磨き合う。(多角的思考)

3 深い学びを実現するためのICT活用例



第1学年 「特別の教科 道徳」 学習指導案

1 主題名
「家族の人の願い」 C家族愛、家庭生活の充実

2 教材名
「かやねずみのおかあさん」

3 ねらい
子供たちを思うお母さんの気持ちや子供たちも母親と同じように家族を大切に思う気持ちを考えることを通して、家族の愛情に気づき敬愛の念をもとうとする心情を育てる。

4 本時
(1) ICT活用

学習場面	導入	展開	終末
学習活動		考えを広げる・深める	自己について問い直す
タブレット PC			

(2) 展開

	学習内容・活動	・指導上のポイント ★評価
導入	1 家族について考える。 ○自分の家族は、どんな家族ですか。 ・優しい。 ・怒ると怖い。	・日頃の様子だけでなく、病気やけがのときの様子についても想起させる。
展開	2 教材を読んで話し合う。 ○お母さんは、どんな気持ちで子供たちに「匂いを探して帰るんだよ。」と言ったのでしょうか。 ・気を付けて帰ってほしい。 ・子供たちを守りたい。 ◎キツネに追われながら、お母さんはどんなことを考えていたでしょう。 ・子供たちは大丈夫かな。 ・子供たちが無事なら、自分が捕まってもいい。 ○子供たちはどんな気持ちでお母さんを探していたでしょう。 ・お母さん大丈夫かな。 ・お母さんに会いたいよ。	・ICTを活用して教材提示する。 ・自分の命が危険にさらされてもキツネに立ち向かう母親の強さに気付かせる。 ・母親の子供に対する愛情について押さえる。 ・子供たちも母親と同じように、家族を思う気持ちがあることに気付かせる。
	3 自己の振り返りをする。 ○自分の家族に手紙を書きましょう。 ・いつも、私の心配をしてくれてありがとう。 ・お母さんのおかげで、おいしいご飯が食べられるから嬉しいよ。 ・これからもよろしくね。	・自分の家族を思い出し、家族を大切に思う気持ちを手紙に書く。 <問い直し> ★家族が自分のことを大切に思っている気持ちや、愛情を注いでもらっていることに気付くことができる。
終末	4 教師の説話を聞く。	

第2学年 「特別の教科 道徳」 学習指導案

1 主題名

「正直なところで」 A正直、誠実

2 教材名

「さるへいと立てふだ」

3 ねらい

うそをついたり、ごまかしをしたりしないで、明るい心で生活しようとする心情を育てる。

4 本時

(1) ICT活用

学習場面	導入	展開	終末
学習活動		考えを広げる・深める	自己について問い直す
タブレット PC			

(2) 展開

	学習内容・活動	・指導上のポイント ★評価
導入	1 学習問題を設定する。 ○うそをつかれたり、ごまかされたりしたとき、どんな気持ちになりましたか。 ・なんだか嫌な気持ちになった。	・うそが嫌だという気持ちから、正直に言うときについて想起するようにして、学習問題を設定する。
展開	2 「さるへいと 立てふだ」を読んで話し合う。 ○立て札を立てたさるへいは、どんな気持ちでしたか。 ・柿は僕のものだ。これで独り占めできるぞ。 ○「うそを書いてはいけません。」という立て札を見た時、さるへいはどんな気持ちでしたか。 ・誰が書いたんだろう。勝手に書かないでほしい。 ◎二度目の書き換ええられた立て札を見た時のさるへいは、どんな気持ちだったでしょう。 ・自分だけ食べてはいけないかも。 ・ほかの人も嫌な気持ちにきつとなるな。 ・みんなで分け合ったほうがいいかも。	・ICTを活用して教材提示をする。 ・さるへいの心情の変化をつかむことができるよう、うそをついたときの気持ちを青、正直にしたときの気持ちを黄色で板書する。 ・立札を書き直した人物への非難の気持ちが出てきたときには、補助発問として、「気味が悪くなったのはなぜか」を考えさせる。
	3 自己の振り返りをする。 ○正直に話をするとうどんな気持ちになりますか。これからどのように生活していきたいですか。	・自分とは違う他者の考えを聞き考えを深める。 <問い直し> ★正直に生きることの良さについて考えることができる。
終末	4 教師の説話を聞く。 ・ことわざ「正直は一生の宝」を紹介する。	・ICTを活用して資料提示する。

第5学年 「特別の教科 道徳」学習指導案

1 主題名

「友情を深める」B 友情、信頼

2 教材名

「心のレシーブ」

3 ねらい

男女互いに理解し合って友情を育て、協力しようとする心情を育てる。

4 本時

(1) ICT活用

学習場面	導入	展開	終末
学習活動	内容を共有する	考えを広げる・深める	自己について問い直す
タブレット PC		 	

(2) 展開

	学習内容・活動	・指導のポイント ★評価
導入	<p>1 男女の関りについての実態を確かめる。</p> <p>○アンケートの結果を見てどんなことを考えますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・からかう人がいるから仲良くできない。 ・実際男子はまじめにやらない人が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前にアンケート調査を行い結果は表やグラフで示し全体の傾向が一目でつかめるようにする。
展開	<p>2 教材を読んで話し合う。</p> <p>○どこかやる気のない態度の男子に対して、陽子はどんなことを思ったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試合に勝てない。 ・私たちはこんなに一生懸命頑張っているのに。 <p>◎「良夫さんだって、頑張っている。」という直希の言葉を聞いて、陽子はどんなことを考えたでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・頑張ってもできていないじゃない。 ・頑張っているのはわかるけど、うまく言えない。 <p>○大会に向けて一つにまとまることができたのはどうしてでしょう。男女それぞれの思いから考えましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男子：運動が得意でないから心配。女子のやる気についていけない。試合には、勝ちたい。 ・女子：男子のやる気がなさすぎる。練習をすれば勝てるのに。試合に勝ちたい。 ・共通する思い：試合に勝ちたい。理解し合えれば力を高められる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・試合に向けての陽子の意気込みとは逆の、直希と良夫の様子をつかむことができるようにする。 ・直希の言葉が心に引っかかっているものの、男子への構えた気持ちから素直に切り出せない陽子の心情に目を向ける。 ・心について、タブレットPCを使って一人一人の思考を視覚的に明らかにしながら話し合わせる。
	<p>3 自己の振り返りをする。</p> <p>○同じグループの友達の良いところ、頑張っているところを見つけよう。そして、それを言葉にして「心のサーブ」を送ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピアノが上手で、連合音楽会の歌を盛り上げてくれるね。 ・代表委員としてあいさつ運動を頑張っているね。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の生活を振り返り、学級の中での男女の関りについて見直し、言葉を送る。 ＜問い直し＞ ★男女が協力して生活する意義を理解することができる。
終末	<p>4 教師の説話を聞く。</p>	

第6学年 「特別の教科 道徳」学習指導案

1 主題名

「崇高なものへの感動」D感動、畏敬の念

2 教材名

「青の洞門」

3 ねらい

自分の可能性に挑戦する人間の姿や人間の力を超えた出来事に対する畏敬の念をもつ心情を育てる。

4 本時

(1) ICT活用

学習場面	導入	展開	終末
学習活動	内容を共有する	考えを広げる・深める	自己について問い直す
タブレット PC		 	

(2) 展開

	学習内容・活動	指導のポイント ★評価
導入	<p>1 「青の洞門」について知る。</p> <p>○「青の洞門」という所にちなんで書かれたお話について考えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> この洞穴はどうやってつくられたのだろう。 切り立った崖だなあ。 	<ul style="list-style-type: none"> 実際の写真を見せ、時代背景や概要、登場人物の関わり等を説明し教材への理解を助ける。
展開	<p>2 教材「青の洞門」を読んで話し合う。</p> <p>○真夜中、敵を目前にした実之助の決心を打ち砕いたものと、洞門工事を手伝わせたものは、何だったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> つち音、念仏それを支える了海のこの世の人とも思えぬ生命力と執念。 完成まで待ってやろう。そして一日も早く敵討ちの目的を果たしたい。 <p>◎洞門が完成した後、実之助がすべてを忘れて了海の手を握ったのは、どうしてでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人のか弱い老僧によってこれだけの大きな仕事が成し遂げられたという感動に圧倒されたから。 	<ul style="list-style-type: none"> ICTを活用して教材提示する。 タブレットPCを使って一人一人の思考を視覚的に明らかにしながら話し合う。
	<p>3 自己の振り返りをする。</p> <p>○人間の力を超えるような出来事に感動したことはありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 宇宙から「はやぶさ」が戻ってきたとき、人間の力を合わせるとここまでできるんだと感動した。 	<ul style="list-style-type: none"> 直接体験、間接体験のどちらでもよいことを伝える。人間の業を超えた力に感動を深め広げられるよう、互いの感動を聞き合わせる。 <p style="text-align: right;">＜問い直し＞</p> <p>★自分の可能性に挑戦する人間の姿や人間の力を超えた出来事に対する畏敬の念を感じている。</p>
終末	<p>4 教師の説話を聞く。</p>	

第9学年 「特別の教科 道徳」 学習指導案

1 主題名

「役割の自覚」C よりよい学校生活、集団生活の充実

2 教材名

「山に憑かれた男」(文部省資料 学研版副読本に所収)

3 ねらい

自分の夢の実現と集団としての役割との間に悩んだ加藤隊員の葛藤を考えることを通して、集団の意義や集団の中での自分の役割と責任を自覚して集団生活の充実に努めようとする道徳的判断力を養う。

4 本時

(1) ICT活用

学習場面	導入	展開	終末
学習活動	内容を共有する	考えを広げる・深める	
タブレット PC			

(2) 展 開

	学習内容・活動	・指導上の留意点 ★評価
導入	<p>1 資料のあらすじを簡単に説明する。</p> <p>○自分だったら上を目指すか、集団としての役割を優先するかを考える。 登る→ピンク 登らない→水色</p>	<p>・ICT活用</p> <p>・時間をかけずに共有する。</p> <p>・ICT活用</p>
展開	<p>2 資料の範読を聞く。</p> <p>○第二次登頂隊と言われたとき、どのような思いだっただろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こんなに頑張ってきたのに。 ・なぜ僕じゃないんだ。 ・もうちょっとで夢が叶うのに。 <p>◎大塚の姿に、加藤は何を考えさせられたのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えていたことが恥ずかしい。 ・大塚の思いを考えていなかった。 ・自分のやるべきことは何か。 ・みんなの夢は何か。 ・登山者としての誇りを大切にしたい。 ・自分の気持ちだけで動いてはいけない。 <p>○登山者としての誇りとは何か。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・隊の一員としての役割を考えること。 ・チームで上を目指すこと。 	<p>・時間をかけずに行う。</p> <p>・考えが深まるよう、問い直しの発問を入れながら考えさせる。<問い直し></p> <p>・ICT活用</p> <p>・ロイロノートに書いて発表させる。</p>
終末	<p>3 ワークシートに学んだこと・考えたことを記入する。</p>	<p>★集団の中の役割と責任について自覚し、自分の役割について考えることができている。</p>